

## 流山市議会全体の中間報告書

平成 21 年 3 月に全会一致をもって議会基本条例が可決されました。この議会基本条例の理念である「市民に開かれた議会」を目指し、協議を重ね、様々な議会改革に取り組んでまいりました。おかげさまで、昨年、日本経済新聞社産業地域研究所が全国 810 市区議会を対象に行った、情報公開や住民参加などの取り組みを調べた第 2 回議会改革度調査において、流山市議会が第 1 位にランキングされ、また、優れた政策を提言、実行した地方の首長・議会などを表彰する「第 7 回 マニフェスト大賞」においては、多数の応募の中から、一昨年の最優秀成果賞および優秀議会改革賞に引き続き、「最優秀コミュニケーション賞」を受賞することとなりました。

主な改革項目は下記のとおりですが、議会運営委員会など各委員会の協議の模様を「流山市議会ホームページ」からご覧いただければ幸いです。

### ～主な改革項目～

- ◆ USTREAM を活用した委員会中継
- ◆ 議会報告会の開催
- ◆ ホームページのリニューアル
- ◆ プレゼンテーションツールを活用した一般質問
- ◆ 議会中間報告の実施・・・など

結びに、今後も流山市議会は、議員同士の議論を深め、市民の皆様の負託にお応えし、市民福祉の向上、市勢の進展に寄与できるよう、邁進していきます。

平成 25 年 5 月

流山市議会

**今、変わる!** 流山市議会

# 流山市議会中間報告書

平成 25 年 5 月

## 前半2年間の取り組み実績 **流山市議会 最年少議員**

政治テーマは生涯、『福祉』と『財政健全化』

【議員発議】党派・会派を超え委員会では有志による条例作成。

- ・市民経済常任委員会副委員長として協議を重ね2つの条例発議（空き家条例、自転車条例）詳細はブログにて。

【情報公開】全国的に、日頃何をやっているか分からない議員が多い。

- ・個人ブログは随時更新、議会レポート（年4回）、facebook、twitter 他

### ■行政のチェックと政策提案

- ①「財政健全化」を優先に考え、費用対効果の出るシステム改善を提案。（例えば、総合窓口ワンストップサービス、有料広告事業など導入。）
- ②「公務員制度改革」既得権益と闘う。労使交渉の議事録公開の提唱。（市職員給料や特殊勤務手当など積極的にメスを入れ引き続き提言中）
- ③「地域防災計画」に準じた緊急避難場所案内図板の早期新規設置（H25年度予算に盛込まれ、順次「有料広告事業」を活用した設置が実現）



他にも多数あり。詳細はこちら [かんのひろたか](#) ←検索

## 後半の取り組み予定

既得権益と闘う。しがらみを断ち業務改善！ 全国的に問題視されている行政の縦割り・しがらみ体制。そこに積極的にメスを入れ指摘改善を求めます。民間と行政では業務推進のシステムが10年以上もの開きがあり市民目線でのサービスが実証されていない部門もあります。「行政はサービス機関」です。勇氣と行動力で従来のお役所仕事と闘い改革を提唱します。

### 取り組む重点政策

- ①財政健全化（議員「おねだり」による財政圧迫の立て直し）
- ②市民力と地域力を発揮し、緑を活かした街づくり（権限移譲など）
- ③議員定数見直し（定数削減に賛成。例えば、4名削減すれば約1億5千万円を捻出できる。それを、子育てや障がい者、高齢者など社会的に援助を必要とされている方々に充ててはどうか。）
- ④障がいを持っている子どもの親亡き後、安心して生活出来る環境づくり
- ⑤国で、ハートフル購入法が制定された。（公共施設で備品使用義務の徹底）

氏名

かんのひろたか



流山市議会中間報告書

平成 25 年 5 月

前半2年間の取り組み実績

市民のみなむしの声をまっすぐ市政に届け。

毎議会後、必ず議会報告会を行ってきました。

- ★放射能測定の実施・自治会などへの測定器貸し出し実現。
- ★危険な通学路の安全対策巻着板・路面表示・カー合装実現。
- ★いじめ対策で地域などとの共同を提起。
- ★学童保育の管理委託による子ども・父母無視の運営の改善要求。

(ほかにも。。。)



就学援助制度の拡充や住宅リフォーム助成制度や、農業・商業・くらし応援のための施策をくり返し提案してきました。

氏名

植田和子



後半の取り組み予定

★小中併設校計画は市民的な議論で適正規模に見直しを。

★住宅リフォーム助成制度の実現を。国保料の値上げ“許さず”。

★ひまづき、身近な要求から、教育問題・地域経済問題・公共事業問題まで幅広く取り組んでいきます。



これからも

市民のみなむしの声を市政にしっかり届けます。

# 流山市議会中間報告書

平成 25 年 5 月

## 前半2年間の取り組み実績

一期目でもありましたので、一年目は特に一人でも多くの方々にお会いして、市民の意見をお聞きしました。市民の方との会話の中で改めて東部地区の重要性と問題点に気づきました。議会の一般質問では、子供たちの通学路の安全の確保、東小学校のプールの移設など設備の改修と充実促進、公共下水道の促進、雨水による浸水対策、ぐりーんバスの促進、コミュニティホームの公共施設としての耐震問題やごみの問題、放射能の問題、聴覚障害者への情報発信、災害時の人やペットの被災者支援など東部地域の諸問題を中心に質問し、取り組みました。

## 後半の取り組み予定

- ◇名都借跨線橋拡幅事業の促進などの渋滞緩和
  - ◇子どもたちの通学路の安全確保
  - ◇市内小中学校の施設設備の改修及び充実促進
  - ◇公共下水道の促進、集中豪雨などによる雨水浸水対策
  - ◇市民の足であるぐりーんバスやその他の交通機関の促進
  - ◇八木地区コミュニティ・ホームの公共施設としての耐震対策
  - ◇地元スポーツ団体を通して青少年健全育成に努めます。
  - ◇災害に強い流山を目指して推進します。
- その他、これからも東部地区の諸問題を中心に市民の声に対して誠意をもって取り組んでまいります。

氏名

笠原  
久恵



前半2年間の取り組み実績

詳細はかとうけい子検索で

## ★子育てしやすいまちづくりに向けての施策を推進中



- ① 市内の子供服を循環させる取り組み（不用品交換会開催）
- ② 子ども・子育て会議の設置実現（法的には努力義務でした）
- ③ 安価で通える寺子屋実現（福祉会館で実施中）

## ★若い世代の声を市政に届ける環境整備を推進中

- ① 保育付の議会報告会を提案し予算化しました
- ② 若い世代の提案を市政に届けるための勉強会を開催中

## ★行政のしくみについて民間に近づけた改正を提言

- ① 人事評価制度を行政評価とリンクさせ、昇給に反映させる
- ② 指定管理者制度の評価方法の見直しや雇用の安定確保
- ③ 市有地の有効利用を提言し、ベンチの設置等を実現

## ★自ら動いて安心安全で誰もが生き生きと暮らせる街づくり

- ① 市民パトロール、お店の活性化、伝統技術継承等推進中
- ② 放射能問題について委員として、子どもの広場の天地返し、高齢者宅計測と除染等を自ら積極的に行いました。

後半の取り組み予定

## ★子どもから大人まで生き生きできるまちづくりを推進

- ① SNSによる情報発信で、現役時代から市政に関わる方を増やし、自らの街は自らが動かし変えていく仕組みづくりを推進
- ② 少子対策と子どもたちが将来活躍できる教育改革を推進  
教育コーチングの導入やグローバル化に対応できるよう、世界につながる、ユネスコスクールへの参加、世代交流を兼ねた安価で通える寺子屋をさらに推進
- ③ 空き家を使ったふれあいの家、シェアハウス等で外国人の宿泊＋日本の文化や自然を生かした体験を実現させる
- ④ 流山市のお店を市民に知っていただき、注文いただける「流山百貨店」をインターネットの中に作ると同時に、見守りを兼ねた高齢者や、共働き世帯に宅配制度を実現させるよう、商工会議所とともに考えます。

## ★党利党略でなく超党派、縦割り行政でなく縦横無尽に動く

- ① 大学院で学んだ最新情報や足で回った現場の情報から政策提案し議員発議の条例を超党派で制定していきます。
- ② 縦割り行政になることのないよう、課をまたいで調整する課の役割を強化
- ③ 今後の定例会も提案型一般質問を欠かさず、半年後のフォロー質問により、スピード感ある施策実現を目指します。

氏名

かとうけい子



# 流山市議会中間報告書

平成 25年 5月

## 前半2年間の取り組み実績

### 2年間で、一般質問7回！（以下の問題をとりあげました）

- ・都心から一番近い森のまち：おおたかの森駅周辺における「たぬき、きじに注意！」の看板設置へ
- ・放射能対策：市内の全公園へ放射能数値を明記した看板の設置へ
- ・熱中症対策：平成25年度、市内全小中学校にミストシャワーの設置へ
- ・高齢者対策：①、流山市文化会館裏の噴水を、高齢者用駐車スペースに改修へ  
②、介護予防事業として、「音楽療法」を取り入れていくことへ
- ・一般質問以外では市民相談を2年間で約300件実施致しました。  
⇒交通安全対策として相談を受け、働きかけた結果、カーブミラー1件、道路標示1件、電柱幕2件が設置され、市道の改修工事3件が実施されました。

## 後半の取り組み予定

### 安心・安全のまちづくり

- ・市内の交通安全対策に取り組みます。
- ・女性の意見を反映した防災対策に取り組みます。

### 高齢者対策

- ・介護予防対策としての「音楽療法」と健康増進に、さらに取り組みます。
- ・交通不便地域の解消に取り組みます。

### 子育て支援

- ・保育所、学童の待機児童ゼロを推進します。
- ・一人親家庭の医療費現物給付に取り組みます。
- ・子どもの医療費助成制度を通院費についても、中学校3年生までの拡大を目指します。

**これからも市民の皆様の声をしっかり市政に届けてまいります！**

氏名

斉藤  
まり



# 流山市議会中間報告書

平成 25 年 5 月

## 前半 2 年間の取り組み実績

### ■放射能汚染対策、脱原発の推進

- 放射能の測定や除染を率先して実践しつつ、その拡充を提案
- 市の電力契約の東京電力から新電力への切り換えを提案。脱原発のための発送電分離の動きを自治体側から一歩進める。
- 子どもの健康診断を求め県内のホットスポット 9 市と国を動かすため活動。国との 5 回の交渉で、文科大臣から“自治体が求めれば学校検診で放射能検査に協力する”との国会答弁を引き出す。

### ■市民・勤労者の立場で行財政の改革

- 安上がり入札への偏りをただし公契約条例制定を提案。ごみ焼却施設の委託業者が炉を故障させ 5 日間で撤退した問題の根っこにはこの偏りがあると指摘、総合評価入札に改めさせる。リサイクル館では委託業者が変わる度に雇用問題が発生しており、委託契約に継続雇用等の規定を設けるよう提案。
- 電力契約を新電力に切り替えさせて市の経費を年間 1900 万円削減（議員報酬約 2.5 人分）。市の民間事業者との契約は、法令を遵守し、社会規範に反しない企業を選ぶべきで、東京電力はふさわしくないことを毅然と指摘。

## 後半の取り組み予定

### ■子育て支援の充実をめざす

- 待機児童の解消、学童クラブの充実。
- 学校間格差を生まない観点から新設校建設計画をチェック。
- 子どもの貧困対策のため就学援助などを拡充。

### ■高齢者が安心できる地域をめざす

- 在宅・施設介護の充実、24 時間 365 日安心の介護をめざす。
- 高齢者の社会参加の機会の拡大。

### ■放射能汚染対策を強化し、こどもの健康診断・健康調査をめざす

- 放射能の測定・除染の縮小・打ち切りに反対し、地域全体の除染の継続を追求。
- 内部被曝対策として子どもの健康診断・健康調査を求める。

### ■入札改革・公契約条例の制定をめざす

- 「安かろう悪かろう」の入札を改めさせ、市民サービスの維持・向上をはかる。
- 公契約条例の制定をめざし、地元業者や働く者の雇用と暮らしの改善を追求。

氏名

あ  
べ  
は  
る  
ま  
さ

# 阿部治正



# 流山市議会中間報告書

平成25年 5月

## 前半2年間の取り組み実績

・都市建設委員会に所属して、地域が抱える都市基盤の諸問題について、議論を掌握する必要から踏査し、大きな課題には事例研究に努め、その結果として施策の是非の判断をしてみました。

・流山新橋建設促進・地域防災の在り方・消防団活動支援・姉妹都市交流促進と併せて地元農産品の学校給食組み入れによる消費拡大等をテーマに、議会一般質問において、現状問題等を質疑し、適時その後の経過を確認しております。



(流山新橋の具体的なイメージ)

## 後半の取り組み予定

・所属する常任委員会活動を主軸に、兼任の農業委員活動における市内産業振興等を「活&元気」をテーマに取り組んでまいります。

・引き続き居住地域の安心安全なまちづくり・新川耕地有効活用・農産物直売・ながぼん拡販・商工業活性化等について取り組みます。

氏名

中村  
あきお



# 流山市議会中間報告書

平成 25 年 5 月

## 前半2年間の取り組み実績

- 「超高齢化社会」に向けた体制づくりに努めた：
- ①買い物が不便な窪地にある高齢化地域に、高齢者等市内移動支援バスの停留所を設置。グリーンバスが通らない狭い道路の地域に交通網を広げた。
  - ②自治会等、地域での認知症サポーター養成講座拡大を支援し、市民の意識向上に努めた。(H24年9月12月議会でも一般質問)
  - ③認知症情報をまとめた「地域資源マップ」作成を要望。現在作成中。(H24年12月議会にて一般質問)
  - ④高齢者ごみ出し支援を要望(H23年12月議会にて一般質問)。実現。
  - ⑤特養等の高齢者施設の増設：行政との認識が合致し、特養2施設増設、グループホーム等の施設増設。(H23年6月議会にて一般質問)
- 流山の歴史認識を広める努力：文化財の一層の周知及び保護を図った。野馬土手ツアー、野馬土手ビデオ作成、案内板設置(H24年6月議会一般質問)
- 地域防災力の充実に努める：①井戸の普及。公園等での自治会井戸設置の承認を得た。②緊急情報発信がIT利用者に偏らないよう、紙ベースでの速やかな周知を求めた。
- 公共施設でのインターネット利用促進：公民館等でのwifi設置が実現

## 後半の取り組み予定

- ライフワークである「超高齢化社会」に向けた体制づくりの充実に努める
- ①「学校に保健室があるように、地域に保健室があってもいいではないか」地域に密着した医療、健康、介護のサポーターを養成し、自治会単位でいつでも、だれでも気軽に、相談できる場をつくる。
  - ②新しい高齢者の在り方(支える側としての高齢者の姿)をさぐり、支援体制をつくっていく。元気なうちは福祉はいらない、本当に必要なときに手厚い福祉が受けられるまちをつくる。
  - ③認知症サポーター養成講座 受講率千葉県一、日本一を目指す
  - ④認知症情報をまとめた「地域資源マップ」の更なる充実に図る
  - ⑤高齢化に起因する地域問題にひとつひとつ取り組んでいく。
  - ⑥ラジオ体操普及を目指す
- 異文化とITに強い環境づくり：ITと異文化に強い子供たちを育てる
- 流山の歴史認識をさらに広く市民に周知し、新市民にも「ふるさと流山」への愛着心を育てる：地名保存等
- 祭り、イベントを商工業の活性化につなげる
- 市民力の強い流山へ：市民が主体となる町の姿を探り、NPOや市民団体の活動を推進。WINWINの協働関係をつくる。

氏名

楠  
山  
栄  
子



# 流山市議会中間報告

(平成 25 年 5 月)

## 流山のほねぶとオジサン 前半 2 年間の取り組み実績(抜粋)

### 1: 都市計画 3・4・10 号市野谷・向小金新田線と名都借跨線橋拡幅の件

新人議員として初の「全員協議会」の席上、市長から 23 年度の事業開始予定だった「都市計画 3・4・10 号線」の「開始断念」の表明があった。東部地区選出の議員と共に、「断念撤回」を求めたが、当時の民主党新政権の事業基準の変更により、工事費 80 億円の財源確保が難しいと。代替として「名都借跨線橋拡幅」が確認できた。その後の折衝で、平成 30 年までに完成するとのお返事を得ている。また 27 年中に向小金福祉会館前から竹の子ルームまでの通学路拡幅の確約を得た。

### 2: 「選挙公約」に記載した市民への約束の進捗は、下記のとおりです。

①「英語に強い流山」ブランドづくり…初の一般質問で Native の増員による英語教育の強化を提案し、ALT の倍増や小学校への補助指導員配置が実現した。また、暁星国際学園の誘致もまとも、首都圏での「子育てするなら流山」のキャッチコピーで、DEWKS (子ども連れ共働き世代) の流入による人口増へ貢献し、「流山のセールスポイント」の一つとなったと確信している。

②「グリーンチェーン」戦略…社会インフラ整備の一環として「市内の校庭・園庭・公園などの芝生化」を提言したが、放射能問題発生で逆に、長崎小などで既存の芝生が引き剥がされ頓挫した。市は「校庭・公園の芝生化」は「社会インフラ」とは言えないとの見解ですが、本戦略は、東京郊外でも屈指の自然環境に恵まれている「森の街流山」に相応しく、放射能問題収束後に改めて再挑戦します。

## 後半の取り組み予定 子どもたちに笑顔を！シニアに安心を！

1: 議員定数の削減を含む見直し…2 元代表制の下で議員削減は議会の力の低下をまねくという議員の反対も強い。特別委員会の委員として議員の質の見極め・人材発掘などは、市民の眼・力・意識に期待し、定数は現行 28 名から 24 名以下の実現を目指す。また、組織力の強い政党にだけ有利とならないよう投票率の UP の啓発にも注力します。

2: 高齢者対策の充実…増え続ける待機者解消の為の特養・老健施設の増設など市支援の充実と、市民力の発揮による「ふれあいの家」の増設を実現し、高齢者の生きがいづくりを進め、孤立化、孤独死の撲滅を図ります。

3: 公平な行政サービスの実現…弱者対象のインフラ整備・特に通学路・グリーンバスの整備、各自治会館トイレ改修等の後回しが散見され、地道に一つ一つ確実に実現するよう注力して行きます。

4: 上記実現のためにまずは財政健全化(順守すべきガイドライン・条例案) 提言

氏 名

西川  
せいし



# 流山市議会中間報告書

平成 25年 5月

## 前半2年間の取り組み実績

### 【基本的理念】

住民の想いを形にしたまちづくりの憲法「自治基本条例」と、議員同士で多くの時間を掛けて議論をし、形にした「議会基本条例」の2つの基本条例の想いを念頭に置き、崇高な理念を目指した街づくりと行政・議会運営を心掛けました。議会の審議、一般質問や予算要望等を行う際も、全てこの点が原点です。

### 【政治は一人では出来ない】

我々議会は28名の議員で構成される「合議体」であり、何でも一人で出来るわけではありません。他の議員の意見や考えに耳を傾け、議論をし、最終的に議会として結論を出すこと(合意形成)を重視してきました。私自身が過去に行ってきた提言や提案による実現も、市民の声による後押し、他議員の賛同、行政職員の地道な協力を頂き実現を出来たことに心から感謝を致します。

## 後半の取り組み予定

### 【自治体を更に強く、議会をもっと強く。】

地方議会に籍を置く者として、地域主権(分権)の流れを止めるわけにはいきません。そのためにも引き続き、住民・自治体起点の質問を行っていきます。

とくに地域の課題が高度・複雑化をし、住民のニーズや価値観が多様化する中で、分野によっては意思決定権や財源が地方自治体にあった方が効率的・機能的であることが考えられます。

昨今の日本を取り巻く環境の変化を見れば、政府や国会は国益を目指し強力で国政運営を推し進めて欲しいというものも数多くあります。そのためにも、国と地方の間、行政と住民の間には明確な役割分担を行い、責任の所在を明確化することが時代の要請だとも感じています。

「個々人が持ち場につく」。地方議員としては地方自治体を更に強くし、議会の権限や意義を高める。議員であるからこそ出来ることをしっかりと行います。

氏名

森  
亮  
一



# 流山市議会中間報告書

平成 25年 5月

## 前年2年間の取り組み実績

- 常任委員会で、教育・福祉問題等について取り組み
- 特別委員会で、放射能問題・防災問題等に取り組み

～～一般質問では以下のテーマで取り組んだ～～

市役所の窓口業務の改善について  
行政サービスのコールセンターの設置・運用  
FAQのさらなる充実について  
防災行政無線・地域防災対策の取り組みについて  
災害時の公共施設等の管理体制について  
消防分団の現状と課題について  
空家・空地等の適正管理について  
自治会活動の支援策について  
コミュニティ活動における自治会の位置付け  
お年寄りや子どもの通学路等の交通安全対策  
セーフコミュニティの街づくりについて

- 最重点課題：市民要望による地域課題の解決

## 後半の取り組み予定

- 常任委員会で、総務課題への取り組み
- 特別委員会で、議員定数等の問題に取り組み

～～一般質問での取り組み予定～～

高齢化時代の諸課題について  
生活圏の道路交通安全について  
防犯・防災に強い街づくりについて  
新たな手法としての市民参加の提案  
先進事例も参考にした商店街の振興策について  
イベントを通じた街づくり活性化策について  
自治会活動の更なる支援策について

……などを予定。

- 最重点課題：市民要望による地域課題の解決

氏名

松 だ  
田 浩  
三 浩



# 流山市議会中間報告書

平成25年 5 月

## 前半2年間の取り組み実績

- ◎事務所を構え、随時生活相談活動。毎月、専門家とともに年金、税相談等を実施。
- ◎放射能から子ども市民を守るために、放射能の除染や測定器増設、給食食材検査、一般食品検査の実現。
- ◎通学路の安全確保。  
(東小前通学路、向小金1-840地先)
- ◎向小金小学校に「特別支援学級」設置を要求し実現。
- ◎就学援助制度の案内パンフレットの改善。

## 後半の取り組み予定

- ◎127億円の豪華な小中併設校建設計画は市民的な議論で適正規模に見直しを。
- ◎甲状腺エコー検査など子どもの健康診断に実施を。
- ◎すべての小中学校に「特別支援学級」の設置を。
  - ◎東部地域から市役所方面への「ぐりーんバス」ルートの実現を。
  - ◎生きるための権利の社会保障である生活保護制度運用の充実。



氏名

徳  
増  
き  
よ  
子



# 流山市議会中間報告書

平成 25 年 5 月

## 前半2年間の取り組み実績

■「議会・議員が何をしているかわからない」と言われないように情報公開と情報発信に努めた。

- ①議会広報広聴特別委員会委員長としてHPの全面リニューアル、議会だよりの改善（早大マニフェスト研究所「コミュニケーション部門」でマニフェスト大賞受賞）
- ②「広報サポーター制度」で市民の力を活かす方針決定（H25より導入）
- ③個人のHPは随時更新、議会レポート（年4回）、メルマガ（月1回）他、議会報告会を随時開催。（URL：<http://www.sakaimutsuo.ne.jp>）

## ■行政のチェックと政策提案

- ①「財政健全化」を第1優先テーマとして、監査等に民間の手法を提案。市債発行については厳しくチェック。
- ②高齢者対策を重点テーマとし、特に認知症対策として「成年後見制度」の普及・活用について行政と協議。
- ③市内農業の活性化のために「農業生産法人設立」「新川耕地活性化策」等を提案し、関係者と協議中。
- ④「小学校の英語教育」のため、タイの小学校と八木南小学校の「TV会議システム（Skype）」を使った交流」を実現させた。

## 後半の取り組み予定

■「議会改革度日本1」（平成24 日経調査）の議会にふさわしい議会改革を更に進め、併せて「あるべき議員像」を追及する。

■議員定数削減を実現する（「議員定数等検討特別委員会」で提言）

■重点テーマは一定の成果を上げる。

- ①「財政健全化条例」策定を提案し、推進役となる。
  - ②「市民後見人」を養成・活用する仕組みをつくる。
  - ③農業生産法人を新たに設立し、「農商工連携」のモデルをつくる。
  - ④「小学校の英語教育」を前進させる。
    - ・海外の小学校と全小学校が気軽に Skype で交流できるようにする。
    - ・麗澤大学の外人留学生と市内の小学生が交流する仕組みを作る。
- 駒木台地区の下水道整備を着工・完成させる。


氏名

酒井睦夫



## 流山市議会中間報告書

平成25年5月

<u>前半2年間の取り組み実績</u>	氏名
<p><u>1</u>安心、安全な街づくりについては、危険ヶ所の点検、対策</p> <p><u>2</u>福祉、医療の充実については、高齢者の居場所づくり</p> <p><u>3</u>教育の充実については、校舎トイレ改修の促進</p> <p><u>4</u>行政の効率化については、市の負担金支出の有効性の追及</p> <p><u>5</u>市内商工業の活性化については、分離発注の提言と、小企業への発注促進提言</p> <p>以上の5項目を公約として取り組んでまいりました。</p>	<p>宮田 みやた か ず な り</p> 
<p><u>後半の取り組み予定</u></p> <p><u>1</u>安心、安全な街づくりについて、区画整理地を重点的に危険箇所の点検、対策を行って行きたい。</p> <p><u>2</u>福祉、医療の充実については、引き続き高齢者の居場所創りを行って行きたい。</p> <p><u>3</u>教育の充実については、教育格差にならない様に、施設の充実を図って行きたい。</p> <p><u>4</u>行政の効率化については、市民目線で無駄を見つけて行きたい。</p> <p><u>5</u>市内商工業の活性化については、引き続き小企業への、受注機会の拡大に努めて行きたい。</p>	

# 流山市議会中間報告書

平成25年5月

## 前半2年間の取り組み実績

- ☆ 副議長として議長を支える。内外対応
- ☆ 相馬市や信濃町、昨年盟約した能登町との議員間交流の充実  
(東日本大震災を教訓に姉妹都市間の絆を深めることによって支援体制を)
- ☆ 東葛都市議会連絡協議会で初の共同提言を提案
- ☆ 年間60市議会を超える視察に議長と振り分け対応
- ☆ 防犯灯や商店街街灯のLED化を推進
- ☆ 会派要望を通し市野谷・東深井2号幹線道路の安全対策推進
- ☆ 西初石1丁目にバス停を新設(京成バスと担当課に要望)
- ☆ 防災拠点づくりに寄与、西初石地区に新たな防災広場を設置
- ☆ 東深井小第2学童クラブ・江戸小第2学童クラブの新設を要望

## 後半の取り組み予定

- ☆ 保育所・学童保育所の待機児童解消施策の推進
- ☆ 医療費助成の拡大を含む子育て世代の支援充実
- ☆ 老人保険施設・介護施設の待機者改善
- ☆ 不耕作農地の改善
- ☆ 市から受託している指定管理者等の就労環境の改善推進
- ☆ 自治会等が実施する防犯・防災の更なる支援
- ☆ 交通安全対策推進(歩行者・自転車)
- ☆ ブログや facebook 等を活用して、市民に情報発信を積極的に行い開かれた議会を実践します。
- ☆ 議会からの条例提案を積極的に行う



氏名

藤井  
俊行



流山市議会中間報告書

平成 25年 5月

前半2年間の取り組み実績

- ・是々非々による政策判断
- ・当選以来毎議会で必ず一般質問、全市地域の諸問題に幅広く取り組む
- ・都市建設委員長として、議論しつつもスピーティな委員会運営を実施
- ・議会無視の小中併設校・総合体育館建替え事業における議論の要求
- ・TX 南流山駅混雑緩和工事実施
- ・生涯学習センター駐車場整備
- ・学童保育所の指定管理者制度移行

後半の取り組み予定

- ・是々非々による政策判断
- ・引き続き、毎議会で必ず一般質問
- ・議論しつつもスピーティな議会・委員会運営の実現
- ・財政問題も踏まえた小中併設校・総合体育館建替え事業について徹底した議論
- ・小中併設校と既存校の施設格差解消
- ・TX の混雑緩和と東京駅延伸
- ・新川耕地の有効活用の推進
- ・流鉄存続と南部地域の公共交通の整備

氏名

中川ひろし



※山崎専司議員は、平成 25 年 11 月 22 日に逝去されました。

## 流山市議会中間報告書

平成25年5月

### 前半2年間の取り組み実績

#### (1) 流山本町ツーリズム推進計画に対する取り組み

平成23年9月議会の一般質問において観光ツーリズムの一環として道路に愛称をつけることを提案

⇒ 本町中通りに「天晴通り」「万上通り」と愛称が付けられました。

#### (2) 文化会館駐車場無料化に対する取り組み

平成24年6月議会の一般質問において有料である現状の問題点等を指摘

⇒ 本年10月を目途に無料化されることになりました。



### 後半の取り組み予定

(1) 交通弱者に対するタウンバスの充実に関して取り組みます。

(2) 切れ目のない子育て支援政策・制度の拡充に積極的に取り組みます。

(ア)、マイ保育園制度の創設

(イ)、子育て総合相談窓口の設置

(3) 流山有料道路の無料化に向けて取り組みます。

氏名

# 根本守



流山市議会中間報告書

平成 25 年 5 月

前半 2 年間の  
取り組み実績

市民と共に実現!!

氏名

放射能  
災害対策

- ◎市独自測定・測定器貸出・水道水や給食、農産物の放射能測定。
- ◎市民の測定会や除染活動を応援。被災地ボランティアツアーを実施。

子育て・  
くらし応援

- ◎子ども医療費助成拡充。公立保育所150人分の廃園に反対しました。
- ◎高齢者への緊急通報装置の設置。
- ◎学校予算の大幅削減に対決。サポート教員の増員、吹奏楽部楽器更新を前倒し実施。

後半の  
取り組み予定

市民の声を届けます

- 小中併設校計画は見直しを
- 『子育てするなら流山』へ全力
- 国保料の値上げにキッパリ対決
- 防災対策を抜本的に拡充し、自主防災を応援。
- リフォーム助成や公契約  
条例を粘り強く提案



市議団ホームページで活動報告を更新中。ぜひご覧下さい。

小田 桐たかし



## 流山市議会中間報告書

平成25年5月

### 前半2年間の取り組み実績

私の選挙時の公約は『議会改革“日本一”を目指します』でした。

流山市議会は、日本経済新聞社が昨年5月に発表した全国市区議会改革度調査で810市区議会の中で全国1位にランキングされました。ただし、これは私個人の力で実現できたことではありません。平成21年4月から施行された議会基本条例の前文にある「市民に開かれた信頼される議会」の実現を目指して、28名の議員が一丸となって取り組んできた結果です。

また、議会としての中間報告を市民の皆さまにお知らせすることは、とても大事なことです。

しかし、市議会という企業とは異なる組織の性質上、議会のホームページでは議長が議会を代表して、委員長が委員会を代表して、議会の中間報告をするのが筋ではないかと考えております。

一方、議員個人や会派の報告については、議会のホームページではなく、個人や会派のホームページや会報紙等で、お知らせするのが通例と考えております。なぜなら、議会活動と議員活動と選挙運動は似て非なるものだからです。

### 後半の取り組み予定

ランキングが全てではありませんが、早稲田大学マニフェスト研究所が昨年11月に発表した全国都道府県市町村議会改革度調査では、流山市議会は1789議会の中で全国6位です。ランキング上位の他の地方議会と比べると流山市議会では住民参加度が弱いので、市民の皆さまが「見たくなる議会」「参加してみたくなる議会」を目指して取り組んで参ります。

ただし、これも私個人の力で実現できることではございません。

地方議会とは、選挙によって選ばれた市民の代表である議員の集合体で、民意を反映しながら議論を尽くす場であり、行政における最高の意思決定機関であります。これからも『誰のための議会改革なのか?』『議会が活性化すると、市民の皆さまにとって、なにがどのように向上するのか?』をよく考えて、個人プレーではなく、チームプレーを大切にしながら行動して参ります。

なお、私個人の議員活動につきましては、引き続き、ブログやTwitterなどで皆さまにお知らせして参ります。

氏名


松野 まつの  
野

ゆたか  
豊



## 流山市議会中間報告書

平成25年5月

<u>前半2年間の取り組み実績</u>	氏名
<p>二元代表制が機能する上で、議会の役割を認識し、流山市民の議会に対する期待にこたえ、議会の持つべき機能を十分に果たすため、議長としてその役目を果たしました。</p> <p>「改革の火は消さない」、今期においても改革度をさらにアップすべき取り組みを議会全体で行ってきました。</p> <p>議場内での議論はもとより、議員同士の自由討議議会報告会の充実など、市民の価値観や意識の変化を掌握し市政に反映することに努めてまいりました。</p>	<h1>坂巻 忠志</h1> 
<p><u>後半の取り組み予定</u></p> <p>「活力あるふるさと流山 地域の発展をめざして」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>☆暮らしの安心、安全の確保に努めます。</li><li>☆小児医療制度・体制の拡充を図ります。</li><li>☆教育・文化の向上に努めます。</li><li>☆行財政改革の推進を図ります。</li><li>☆地域産業・経済の活性化に努めます。</li><li>☆市民福祉の充実・向上に努めます。</li></ul>	

## 流山市議会中間報告書

成 25年 5月

### 前半2年間の取り組み実績

- 一般質問において下記のとおり取り上げさせていただきました。
    - ・危機管理体制の整備強化(被災者支援システム導入を推進)
    - ・運河駅橋上駅舎建設と東口駅前広場の早期完成を推進
    - ・「空き地の草刈り条例」の制定を推進
    - ・学校現場における震災対策(児童の引き渡し等)の拡充
    - ・難聴児補聴器購入助成制度の導入推進
    - ・おたかの森駅自由通路を活用した市内商業の活性化の推進
    - ・流山市保健センターのトイレ改修の推進
- その他、高齢者の医療・介護施策、健康増進事業等多数質問。

- 2年間、議会運営委員会委員長の重責を担い、定例会の運営の他、議会基本条例の見直し及びICT推進基本計画の具体的実施等に取り組んできました。偏に、各会派の議運の委員並びに全議員の協力があつたればこそと心から感謝申し上げます。

### 後半の取り組み予定

- ・議会の権能を生かし更なる行財政改革に取り組みます。
- ・市民の血税をより効率的に活用するため、小中併設校、市民総合体育館、小山小増築等の予算規模の縮減を工夫します。
- ・居宅介護・老老介護・独居高齢者の見守り等、高齢者の健康増進と福祉の向上に努めます。
- ・がん検診の受診率向上を目指します。(特に女性特有のがん対策)
- ・保育所や保育ママ制度を拡充し・子育てと仕事の両立を図ります。
- ・児童数の増加による学校施設の整備と既存学校の格差是正を図ります。
- ・市内の交通安全対策を推進し、市民の安全の確保に努めます。
- ・女性や災害弱者といわれる方の視点を生かした防災対策を推進します。

◎市民の皆様から寄せられる声に真摯に耳を傾け、行政に反映してまいります。


氏名

松尾澄子



# 流山市議会中間報告書

平成25年5月

<p><b>前半2年間の取り組み実績</b></p> <h2>初心忘れず</h2> <h3>安心安全なまちづくりに全力！！</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>● 児童・生徒の安全確保の面から、学校防災マニュアル等の更なる充実。</li><li>● 障がい者の就労と自立支援の更なる充実。</li><li>● 高齢者等の孤独死ゼロを目指して市民と行政との協力。</li><li>● 流山本町界隈の交通安全対策の充実。</li><li>● 児童・生徒の交通安全対策の強化充実。</li></ul>	<p>氏名</p> <h1>青野直</h1>
<p><b>後半の取り組み予定</b></p> <h2>更なる安全・安心</h2> <h3>新しいまちづくりに全力！！</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>● 教育予算の増額に向けての取組み。学力・気力・体力の向上と、いじめや不登校対策、環境整備等々。</li><li>● 高齢者・障がい者等福祉施策の更なる充実。</li><li>● 生活道路等における交通安全対策の更なる充実。</li><li>● 地元再発見による新しいまちづくり等々。</li><li>● 災害に強い地域づくり等々。</li></ul>	

# 流山市議会中間報告書

平成 25 年 5 月

## 前半2年間の取り組み実績

- ◎毎議会で一般質問。初当選から72回連続を記録
- ◎消極的だった市長を動かし、放射能から子どもたちを守る除染や給食食材検査等を実現。若者たちと原発ゼロをめざし脱原発地域デモを展開
- ◎開発優先を批判し市政を厳しくチェック。「国保料引き下げ」など福祉や暮らしを守る提案。市民参加条例では市民参加の場を拡大
- ◎三輪野山の水害対策や文化会館駐車場無料化など、身近な問題でも市政を動かす。



## 後半の取り組み予定

- 127億円の豪華な小中併設校計画は市民的な議論で適正規模に見直しを
- 震度7を想定した震災対策の強化。自主防災を促進するためにも公助としての市の役割を重視
- 甲状腺エコー検査など子どもの健康調査実施を
- 国保料の値上げ許さず、特養ホームを増設。弱い立場にある人が安心して暮らせる社会に
- 住宅リフォーム助成の実現を



Twitterやっています [Twitterアカウント: @jcpinui](https://twitter.com/jcpinui)

氏名

乾 いぬい

紳 しん

一 いち

郎 ろう



# 流山市議会中間報告書

平成 25年 5月

## 前半2年間の取り組み実績

一般質問及び委員会質疑等の議員活動による主な実績

★教育問題では、いじめ撲滅をめざして

- ①いじめの早期発見・早期解消を推進しました！
- ②教員の支援体制（サポート教員等）を推進しました！
- ③学校・家庭・地域との連携を推進しました！

★防災対策では、市民の命を守るため

- ①断水時の応急給水所を8カ所の小学校に拡大しました！
- ②防災行政無線が聞こえにくい時、フリーダイヤルで確認できるシステムを実現しました！（0120-78-3170）

★東部地域図書館（木の図書館）を実現しました！

★交通安全対策（通学路の歩道拡幅整備等）を推進しました！

## 後半の取り組み予定

（主な取り組み予定）

- ◎教育問題では、子ども達が楽しく学校へ通えるように、いじめの早期発見・早期解消をさらに推進します！
- ◎防災対策では、災害時の避難場所になる全小中学校の非構造部材（天井・照明器具・壁等）の耐震化を実現します！教室の窓ガラスへの飛散防止フィルム貼付を実現します！
- ◎健康施策では、<sup>のうこうそく</sup>脳梗塞を予防するため脳ドック助成事業の実現をめざします！
- ◎子ども医療費助成制度の中学校3年生までの通院費の助成を含めた拡大の実現をめざします！
- ◎子どもの命を守るため、通学路の歩道拡幅整備等の交通安全対策を、さらに推進します！


氏名

秋  
間  
  
高  
義



# 流山市議会中間報告書

平成 25年 5月

前半2年間の取り組み実績	氏名
<p>総務常任委員会に所属して、所管する案件の調査研究を行い、議論を尽くしました。自分として納得のいく判断をすることができたと自負しております。</p> <p>また、議員1名・有識者1名からなる流山市監査委員の議員側の監査委員に選出していただき、流山市の行政運営の全般にわたる監査業務に取り組みました。予算執行にムダがないように、市民の思いを反映した事業ができるように、自分なりの意見を出させていただきました。</p> <p>なお、監査内容は秘密事項であるため、本会議での一般質問が行えません。この点がいささか心残りでありました。</p>	<p>いとうみのる</p> 
<p>後半の取り組み予定</p> <p>どちらの委員会に所属するかも含めて、どういったことに取り組むかについては未確定な部分が多いのですが、市議会議員として6期目、22年間の経験を活かして、どの分野においてもできることを最大限にやりとげ、個々の地域のことから市全体にかかわることまで、市民の意向が活かされる取り組みを積極的に進めてまいりますとともに、一議員として、自らの立ち位置を明確にし、己に恥じない行動をとってまいります。そして、よりよい流山の実現に向けて歩みを進めてまいります。</p>	

# 流山市議会中間報告書

平成 25年 5 月

## 前半2年間の取り組み実績

※一般質問で取り上げ推進しました。

- 保育園と学童クラブの増設
- 子ども医療費助成制度の拡大
- 放射能対策費の予算を明確にし、除染対策を推進
- 高齢者のための休憩ベンチ（まごころベンチ）の設置
- 南流山駅周辺の自転車駐車場の増設
- 公民館の資源物回収スペースの設置
- 都市計画道路木・流山線の信号機・横断歩道の設置・30キロ速度制限の表示の増設
- 自転車の安全利用に関する条例の推進
- 高齢者のためのごみの戸別収集の推進
- 有料広告事業による収入の確保
- 通学路の総点検の実施と交通安全対策の実施
- 南流山駅の屋台フェアの推進

## 後半の取り組み予定

※市民の皆様の要望を実現できるよう全力で取り組みます！

- 初心を忘れず市民のお役に立てる議員として研鑽と行動の努力を怠りません！
- 議員定数と報酬のあり方の検討
- 市民と協働による新・市民総合体育館の建設
- 市内商工業の活性化
- 市民の借金を減らし、貯金を増やす財政運営を市長に提言します。
- 障がい者の住み良いまちづくり
- 市内雇用の拡大（若者・子育て世代・高齢者）
- 特別養護老人ホームや介護サービス付き住宅の増設
- 子ども医療費助成制度の拡大（中学校3年生まで）
- 南流山センターと図書館分館の増築
- 芸術・文化基本条例の制定
- 賑わい溢れる南流山駅周辺の再開発基本計画の策定

氏名

田中

人実

ひとみ



# 流山市議会中間報告書

平成25年 5月

## 前半2年間の取り組み実績

・市民経済常任委員会委員長として2年間で2本の議員提案条例について協議を取りまとめ、条例を策定しました。

### ①、空き家等の適正管理に関する条例

⇒条例の制定により、管理不良状態が継続する場合は所有者指名の公表など市が強制力をもって対応できるようになった。

⇒市民からの相談件数64件のうち、7件が解決に向かった。

### ②、自転車の安全利用に関する条例

⇒自転車の安全利用に関する意識の向上及び市や事業者、警察、自転車利用者等が協働して自転車の交通安全を推進する条例。

・江戸川台駅前西口再整備が実現いたしました。



(新しい江戸川台駅前西口の様子) ⇒

## 後半の取り組み予定

・いじめが児童、生徒の自殺に繋がるなど深刻化する事例が他市において見受けられます。それらを未然に防止するためにもいじめ問題の解消に取り組みます。

・地域にお住まいの方の利便性の向上や児童の交通事故を防ぐため、西深井小学校周辺道路の整備促進に取り組みます。

・前半に引き続き、委員会で様々な問題を議論し、議員提案条例の策定に積極的に取り組みます。

氏名

えびはら 功一

